

放課後の児童預かり保育について

地域子供保育と学童保育を一本化



坂元 正春議員

放課後の子ども達が安心して楽しく過ごせる居場所づくりのため、文部科学省の地域子ども教室と厚生労働省が実施してきた放課後学童保育の支援事業を一体化し、連携して行うことになる。今後どのような考え方で推進されるのか。

推進体制はこれから

教育長

文部科学省は、平成19年度から放課後子どもプランとして、放課後子ども教室推進事業を新規に立ち上げた。子供たちの安全・安心な活動拠点としての居場所を設け、地域の方々の参加を得て、さまざまな体験交流活動等を推進する取り組みを厚生労働省と連携した総合的な放課後対策として実施する考えである。推進

体制はまだはつきりしていない状況であり、今後、教育委員会と福祉課との連携で、事業を推進していく方向性を探っていく考えである。

児童・生徒の通学路は安全か

坂元議員

各小学校から要望されている通学道路の危険箇所、道路側溝のフタの布設や歩道の狭い所の改善は進んでいるか。グリーンロードの横断歩道の設置は出来るのか。

更なる整備を進める

町長

各学校の要望及び危険箇所調べに基づいて、少しずつではあるが施工している。今後も安全・安心な町づくりを目指して事業を進めていく。

菱田小・有明高校前の国道沿いの歩道整備も着々と進んでおり、更に必要な箇

所は国の方で整備が進むと思っている。グリーンロードの横断歩道の設置は、関係機関と検討しながら計画していきたい。

児童・生徒の遊び場は安全か

坂元議員

各小学校の運動場の土・日の活用はあまりないとのことだが、運動場での遊びは安全か。

安全確保に万全を期す

教育長

本年度から各学校にスクールガードを設置し、日中や登下校時に校内及び通学路周辺の巡回・警備を行っており、この他にも学校独自の安全確保の体制をとっている。今後も遊び場の安全確保について、整備の必要があれば関係課においてお願いをしていく。

複式学級の問題点について

坂元議員

複式学級の担任の先生は毎日、二学年分の教材の研究や教え方、教材の準備をしなければならないこと、授業の時間も半分になり、教材・単元によっては両学年同時に教えるのは困難である。担任教師の負担軽減策として、担任をサポートする補助教員を配置する考えはないか。

対応策を検討している

教育長

複式学級の問題点として、発達の異なる2学年が在籍し、毎時間の教材研究や準備は2学年分しなければならぬため、担任の負担は大きいことが考えられる。このような状況を的確に捉えながら対応策を検討したい。

町長

教育長の方からも提案が出されていたこともあり今後対応していく。

各小学校に子供相談員の配備の考えは

坂元議員

子ども達は自分の思っている事や悩み等打ち明けることも出来ず、心に思い込んだままいることが思いがけない行動や態度に出ることもある。

父親・母親の立場で、親身になって何でも相談できる相談員を配置する考えはないか。

これまでの体制で進めたい

教育長

現在、町立小学校全体を視野に入れた教育相談員を配置している。各学校に向き、情報交換の中から、児童の様子の把握、問題を抱える子供の近況等、最善の策を探るべく活動してもらっており、児童の話し相手の相談役割を担う体制はできている。各小学校に相談員を配備することは今のところ考えていない。